

# 脱炭素×農業ワーキンググループ

## WG概要

東日本大震災・原発事故による被災12市町村等を中心に、地域の復興・再生を図るまちづくりを進める上で、基盤産業であり生きがいの一つでもあった農林水産業の再振興に脱炭素の観点を組み込みつつ、地域資源（福島県の未利用バイオマス等）を最大限活用しながら、環境と農林水産業と経済と地域社会が両立する形での地域振興・福島の再生を目指す

## 脱炭素への貢献

脱炭素×農業の普及、啓発  
 福島県のバイオマス資源を活用した新たな農業用資材の開発  
 脱炭素型の農業用資材を活用した実証試験  
 脱炭素×農業を促進する教育プログラムの実施

## 目指す姿

- ✓（福島県の）未利用バイオマス資源を活用した新たな農業用資材の開発とそれらを活用した実証試験を通じ、脱炭素型農業を推進すること
- ✓ 脱炭素型農業を通じて特色ある食料生産を実現し、被災12市町村の産業振興と復興の一助となること
- ✓ 脱炭素型農業の成果を福島県内外に発信し、農業分野における脱炭素や資源循環のモデルとなること



## これまでの取組み

- ✓ 再生可能なエネルギーであるバイオガスについての理解を深めてもらうことを目的に、東北大学大学院農学研究科の多田先生らと共同して磐城農業高校において出前授業を行った（共栄株式会社）
- ✓ 生分解性のマルチフィルムの脱炭素化効果/省人化効果についての理解を深めてもらうことを目的に、MKVアドバンス株式会社と共同して岩瀬農業高校において出前授業を行った（三菱ケミカルグループ株式会社）



## 現状及び事業化に向けた課題

- ✓ 脱炭素よりも経済性が重視されること
- ✓ 脱炭素×農業を目指す取り組みがCSRの域を出ないと思われること
- ✓ 再生可能なエネルギーであるバイオガスについての理解が十分でないこと
- ✓ 生分解性のマルチフィルムや育苗ポットの脱炭素化効果/省人化効果についての理解が十分でないこと
- ✓ WG活動の大半が参画企業の手弁当であること



## 今後の取組み方針

- ✓ 生分解性の育苗ポットの脱炭素化効果/省人化効果についての理解を深めてもらうことを目的に、東海化成株式会社と共同して南会津高校、福島明成高校において出前授業を行う予定です（三菱ケミカルグループ株式会社）
- ✓ えこえね南相馬研究機構の高橋様に協力頂いて、南相馬市等において脱炭素×農業に興味を持って下さる事業者の方々に対し、ヒアリング調査を実施予定です

### ✓ 今後のスケジュール

	R6	R7	R8	R9	R10
検討	→				
実証		→			
事業化					→



## プラットフォーム関係者へのメッセージ

- ✓ 脱炭素×農業に興味がある人（農林水産業従事者）を紹介してほしい
- ✓ 実証試験に協力してくれる自治体を紹介してほしい
- ✓ 出前授業を実施して下さる高校を紹介してほしい

## ワーキンググループ参画事業者

- ✓ 三菱ケミカルグループ株式会社(幹事会社)
- ✓ 応用地質(株)様
- ✓ 日本工営エナジーソリューションズ様
- ✓ 三菱重工業(株)様
- ✓ 合同会社オトナリ様
- ✓ (株)奥村組様
- ✓ 共栄(株)様
- ✓ (株)ちーの((株)バイオマスレジソールディングス)様
- ✓ 大成建設(株)様
- ✓ フタバ産業(株)様
- ✓ 三菱ケミカル(株)様
- ✓ 東北交易(株)様
- ✓ アジア航測(株)様
- ✓ 全国農業協同組合連合会(JA全農)様
- ✓ (一社)えこえね南相馬研究機構
- ✓ (国研)農業・食品産業技術総合研究機構様